

物流コスト診断サマリー

診断対象：EC・D2C物流

診断基準：2026年7月稼働・8月請求参考 | 税抜

年間改善余地

¥5,635,572

年額換算

月間改善余地

¥469,631

8.3% 改善

現状月額

¥5,654,568

改善後月額

¥5,184,937

1出荷あたり

¥33

改善余地

現状と改善後の比較

現状月額

¥5,654,568

改善後月額

¥5,184,937

診断結論

最大の改善ポイントは配送費です。

ポストイン配送のサイズ構成を再設計すると、月額463,145円の改善余地があります。単価の一律値下げではなく、商品の厚みと出荷構成に合わせた配送サービスの組み替えが主要因です。

物流のコストと仕組みを、見える化する。

月額コスト比較と改善アクション

費目	現状	改善後	差額
基本料	¥30,000	¥30,000	¥0
toC出荷作業	¥1,601,251	¥1,351,590	¥249,661
FBA／toB	¥4,790	¥4,420	¥370
特殊作業	¥232,374	¥282,630	-¥50,256
システム	¥72,000	¥68,000	¥4,000
保管	¥228,000	¥256,500	-¥28,500
資材	¥262,926	¥431,715	-¥168,789
配送	¥3,223,227	¥2,760,082	¥463,145

優先改善ポイント

01

厚み構成を実測

直近2〜4週間の出荷データで2cm／3cm比率を検証し、配送費の再現性を確認します。

02

梱包仕様を確定

資材費、作業効率、破損率、顧客体験を合わせて評価し、最適な資材仕様を決めます。

03

出票・出荷確定を自動化

CSV・API・AI連携で、送り状発行から出荷確定までの手作業を削減します。

次のステップ

請求書とヒアリング結果を確認し、条件確定後に正式見積と移行計画をご提示します。